

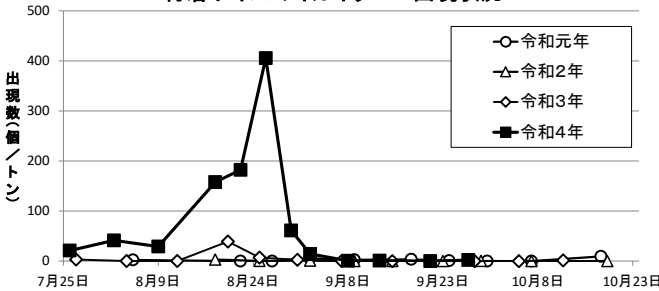
◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

サロマ湖4地点で付着生物のラーバ調査を行った結果、イガイ(シュウリガイ)ラーバは170~180 μ mの小型個体を中心に平均で141個/トン出現していました。260 μ m以上の付着サイズは2個/トン出現していました。

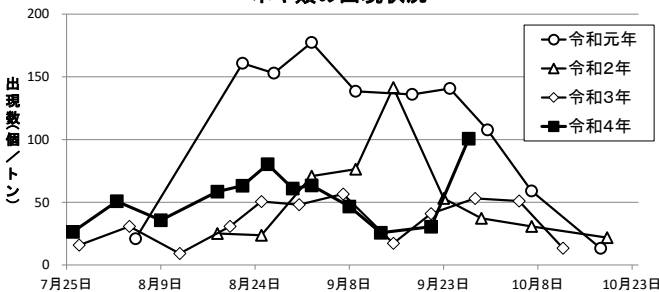
ホヤ類(エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ)のラーバは101個/トン出現しており、地点によりばらつきがありました。前回よりも大幅に増加していました。

次回は10月4日(火)に実施予定です。

付着サイズのイガイラーバ出現状況



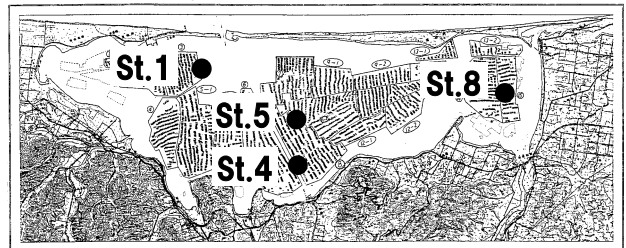
ホヤ類の出現状況



イガイラーバの出現状況

	St. 1	St. 4	St. 5	St. 8	平均
140 ~ 150	0.0	5.5	7.3	2.8	3.9
150 ~ 160	8.9	11.1	18.1	0.0	9.5
160 ~ 170	35.6	2.8	10.9	2.8	13.0
170 ~ 180	89.1	11.1	29.0	8.3	34.4
180 ~ 190	49.0	8.3	25.4	0.0	20.7
190 ~ 200	35.6	0.0	7.3	5.5	12.1
200 ~ 210	44.6	0.0	7.3	2.8	13.6
210 ~ 220	44.6	2.8	3.6	2.8	13.4
220 ~ 230	17.8	0.0	0.0	0.0	4.5
230 ~ 240	26.7	2.8	7.3	2.8	9.9
240 ~ 250	8.9	0.0	0.0	0.0	2.2
250 ~ 260	4.5	0.0	0.0	0.0	1.1
260 ~ 270	8.9	0.0	0.0	0.0	2.2
270 ~ 280	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
280 ~ 290	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
290 ~ 300	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	374.3	44.4	116.1	27.7	140.6
200 μ m以上	156.0	5.5	18.1	8.3	47.0
	41.7%	12.5%	15.6%	30.0%	33.4%
260 μ m以上	8.9	0.0	0.0	0.0	2.2
	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
ホヤ類	12.3	208.2	158.8	23.6	100.7

付着物ラーバ関連調査地点図



◎サロマ湖水質状況

湖内中央部ブイ5の水温(°C)、溶存酸素(mg/L)、塩分(‰)を測定しました。

その結果、水温は全層で18°C台でした。溶存酸素は全層で7mg/L以上ありました。塩分は全層で33‰以上ありました。

